

ごみを減らす4R運動

「4R」とは、4つの言葉の頭文字「R」をとったごみを減らすためのキーワードです。
4つの言葉は次のとおりです。ごみを減らす、資源の再利用のため4Rを実践しましょう。

リフューズとは、「断る」という意味です。
明らかにごみとなるものを受け取らないようにしましょう。

- 例
- ◎マイバックを持ち歩き、レジ袋をもらわない。
 - ◎箸やスプーン等を持ち歩き、割り箸や使い捨てスプーンをもらわない。
 - ◎過剰な包装を断る。

リサイクルとは「形を変える再利用」という意味があります。
リサイクルできるものは積極的に行いましょう。

- 例
- ◎正しく分別してリサイクルする。
 - ◎リサイクル可能な商品を選ぶ。
 - ◎リサイクルされた商品を選ぶ。

- 例
- ◎3きり運動を行う。
(※2ページをご覧ください)

リデュースとは「減らす」という意味です。
ごみの排出を減らしましょう。

- 例
- ◎人に譲る。
 - ◎リサイクルショップやフリーマーケットにだす。
 - ◎修理してできるだけ長く使用する。

リユースとは「繰り返し使う」という意味です。
いらなくなったものをすぐに捨てるのではなく、何かに活用できないか考えましょう。

リサイクルの大切さについて

リサイクルを行うにあたり、例えばトレイ類であれば洗ったり乾かしたりと何かと手間がかかります。燃えるごみとして捨ててしまえば洗うこともなく、少なくともリサイクルするよりも手間はかかりません。

では、リサイクルをしなければどうなるのでしょうか。当然のことのようにごみの排出量は増え、それに伴いごみの焼却量も増えます。焼却量が増えると温室効果ガスの1つでもある二酸化炭素の排出量が増え、地球温暖化が進みます。地球温暖化が進行すると、地球の気象が変化し、極端な気温の上昇による熱波や強い台風や集中豪雨などの異常気象による災害の頻発や、干ばつによる食糧危機、海面上昇による居住地の喪失などが引き起こされます。

これらの地球温暖化が原因となる問題を防ぐためリサイクルを行い、二酸化炭素排出量の削減を行う必要があります。一人一人がリサイクルを行い、二酸化炭素の排出量を削減できるのは少量かもしれませんが、しかし村民の皆さんが、全国の皆さんと一緒にリサイクルに取り組めば大きな二酸化炭素排出量の削減になります。

「混ぜればごみ、分ければ資源。」一手間を惜まずリサイクルにご協力ください。
お子さんやお孫さんなど次世代が生きる未来の地球を守りましょう。

